

後援会のこれまでのあゆみ



総会



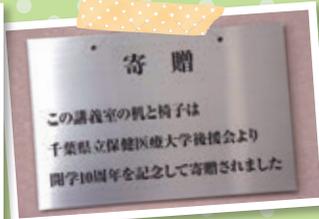
学生ホールの机、椅子の寄贈



教室の机、椅子の寄贈



理事



いずみ祭出展準備



チーバくんもいずみ祭に参加



災害備蓄品の整備



いずみ祭出展

いずみ

いずみ 第21号 (冬号)
令和3年2月6日発行
千葉県立保健医療大学
後援会
〒261-0014
千葉市美浜区若葉2-10-1

題字揮毫
山浦 晶 前学長

ました Vol.2

この一年ほどで私たちの学修環境は一変した。キャンパスへ赴く機会は減り、Web上で講義を受講することが普通になり、実践的な学びの機会は少なくなった。どこからでも講義にアクセスすることができる今、学生は何を以てその大学で学び、何を学ぶのか。一人一人が今一度考える時期が来ているのではないだろうか。(栄養学科 2年)

コロナ禍の今、学生として生活して思うことは、同じ学科のみんなと仲良くなりたいということです。前期は対面の授業はなく、後期に入って週一で出来る様になりました。対面の授業がもっと増えて、4年間に共にする仲間と仲を深めたいです。

(看護学科 1年)

コロナ禍で大きく変わったことは実習でした。臨地に行けなかったことで3年生のときに実習で経験したことが経験できないのだと感じました。実際に患者さんを受け持ち、看護ケアを実践することで自分の学びを深めていたため、やはり学内だと学びが薄くなってしまおうと感じました。少しでも多く後輩が臨地で実習できるようになればと思います。(看護学科 4年)

入学後、慣れない生活に不安とストレスで苦しい日々を送っていました。そんな中でも、最大限の支援をくださった先生方、先輩方には本当に感謝しかありません。後期になり、対面授業が増えました。今は、友達と一緒に勉強ができることが本当に楽しいです。今後は、他学科の方と交流する機会が増えればいいなと思っています。(栄養学科 1年)

コロナ禍での国家試験の勉強や就職活動は、前例がなく不安なことが多かったです。しかし、先生方のご支援や学科の友達との協力を通じて、改めてこの大学に入学してよかったと実感しました。このような状況でもできることはたくさんあると思うので、悔いのないよう、やるべきことを前向きに取り組みたいと思います。(栄養学科 4年)

コロナウイルス感染症が流行し、臨地実習も学内やリモートに切り替わりました。実習生活にも慣れ、国試の勉強も始めた頃だったので、最初は臨地実習に行きたかったなと残念な気持ちでした。しかし先生方が熱心にご指導くださった結果、学内でも臨地実習に近い学びが得られたので、今は感謝の気持ちでいっぱいです。(看護学科 4年)

私の最後の大学生活はコロナウイルスの流行により、多くの実習の機会を失いました。実技面における学習が不十分な中で、来年度から実際に就職して現場に立つということにとっても不安を感じています。なので、不足している技術面を補えるよう、少しでも多くの知識を持って卒業したいと思います。(歯科衛生学科 4年)

教育実習が10月に延期となり、例年であれば卒業研究や国試対策にあてられていた期間で、精神的にも体力的にも負担は大きかったです。しかし、誰もが初めての経験で試行錯誤の中、受け入れてくださった実習先と、私たち学生のために動いてくださった先生方のおかげで実施できましたこと、心より感謝いたします。(栄養学科 4年)

コロナ禍で直前まで実習の予定がわからない状況が続いているため、先の見えない不安がある。また、領域によっては臨地での実習ができていないため、実践する機会の減少に関する懸念もある。多くの戸惑いもあるが、将来看護職に従事する者としての自覚をもち、感染予防に努めながら日々勉学に励みたい。(看護学科 3年)

最終学年のスタートかと思った矢先、始まったのはリモート授業でした。不安な一方で、良い危機感を持ってました。実技面の不足を知識で補おうと、積極的な学びができました。授業方法に関わらず、自分の知識として得られるかは自分次第だと学びました。卒業後も学びの姿勢を持ち、自らの成長を求めていきたいです。(歯科衛生学科 4年)

大学での授業のほとんどが遠隔となったことで、慣れない遠隔システムなどに戸惑い、対面が良いと思うことも多々ありました。しかし、オンライン栄養指導など遠隔ならではの授業もあり、通常の授業では得られない学びを得ることができたと思います。

一刻もはやくコロナが落ち着き、友人たちと普通に会えるようになってほしいです。(栄養学科 3年)

COVID-19が拡大して、対面授業が週1程度しかできなくなり、今では週1でも対面で授業を受けられていることありがたいと感じるようになった。友人とも今年は会う機会が少なく寂しいなと感じることも多い。COVID-19が収束し、元の生活に早く近づくの良いなと思う。

(看護学科 2年)

保医大生に聞き

コロナ禍によりオンライン授業が開始した。これにより無駄な通学時間はなくなり、また好きな時間に受講できることは最大の利点だ。使いこなせない学生や教員もいるだろうが、変化や対応が出来ない者が時代に置いて行かれるのは当然のことである。今後もオンライン授業の有効活用を実施してもらいたい。(作業療法学専攻 3年)

普段、教室や図書館で仲間と一緒に勉強している私にとって、コロナの影響で学校へ行けないという状況は不安でしかありませんでした。しかし今、感染対策をしっかりした上で対面授業を受け、仲間と勉強し、また実技の授業・練習が出来ていることがとても嬉しく身についているな、と実感しています。(理学療法学専攻 3年)

新型コロナウイルスを経験して改めて感染予防の重要性を学びました。基本的な手洗いうがいやマスクの着脱方法など今まで学んだことをニュースで見かけました。実習や授業が縮小され日常生活に制限を感じることもありますが、残りの大学生生活を友達と楽しみ3月の国家試験に臨みたいと思います。(歯科衛生学科 4年)

コロナ禍の今思うことはウイルスの流行以前より不自由になったことです。もう経験できないだろうこの時期に行動自粛やリモートになってしまい、充実した大学生生活を送れなくなってしまいました。しかし、入院している患者さんなど以前から生活に制限があった人の気持ちを考えることができ、貴重な体験ができていますように感じます。(作業療法学専攻 2年)

今年のコロナ禍で、大学生として楽しめるはずのことが学校生活、私生活共に少なくなってしまったと思います。特に残念だったのは、いずみ祭が中止になってしまったことです。昨年も台風の影響で中止になったため、2年連続開催できなかったのはとても残念でした。(理学療法学専攻 2年)

実習が本来の予定より数ヶ月遅れて始まり、それも例年に比べて回数が少ないので、実技習得に関して大きな不安があります。また、今のこの生活も最近は慣れてきましたが、この先数年は続くだろうと思うと少し憂鬱になってしまいます。(歯科衛生学科 3年)

遠隔授業から最も感じたことはモチベーションの低下でした。前期では分からないことだらけの遠隔授業や一人でこなす課題がとても辛く、後期になり対面授業が増えて学生同士で支えあい共に学ぶことの楽しさを痛感しました。しかし、自分が作業療法士になってもいいのだろうかという疑問はいつも頭をよぎっています。(作業療法学専攻 2年)

新型コロナウイルスの影響により、入学式、学祭はもちろんのこと多くの人が想像する大学生生活を経験したことがありません。また、学校に行ける日もごくわずかであり、お互いの名前と顔をいまだに覚えることができていないのが現状です。一刻でも早く通常の大学生生活を送れることを願うばかりです。(理学療法学専攻 1年)

例年通りの実習を行うことができない中、例えば感染予防についてなど、この状況だからこそより一層深く学べることもあり、前向きに考えられている部分もあります。今の夢は友人とマスクをとって笑い合ったり、みんなでご飯を食べに行ったり、海外旅行に行ったりすることです。(歯科衛生学科 3年)

コロナ禍の影響で、前期の授業は全て遠隔授業となったため、大学生になったという実感がなかなか持てませんでした。後期は一部の授業を対面形式で行えているので、少しずつ実感が湧いています。学内でも感染の危険はあるため、気を緩めずに行動していきたいと思っています。(作業療法学専攻 1年)

初の臨床実習に不安と楽しみで胸を膨らませていた2020年3月。新型コロナウイルスの影響で前期授業は遠隔となり、実技演習が殆どできないまま大きな不安を抱えて実習が始まった。感染対策のため制限もあったが、学内ではできないことを経験できた良き実習であった。来年の臨床実習も楽しみだ。(作業療法学専攻 3年)

学生生活最後の年はたくさん遊んで思い出を作ろうと思っていましたが、難しい状況となってしまいました。自粛期間を経て、改めて友達と会える時間は本当に貴重なものだと実感しました。4月からはみんなと会える機会は減ってしまうので、学校でみんなと会える1日1日を大切に楽しく過ごしたいと思っています。(理学療法学専攻 4年)

在校生へ」

管理栄養士として就職

1. 官公庁（県内）
2. 管理栄養士の公務員試験（専門試験）や面接の情報収集に苦労しました。県主催の職員セミナーは一般職向けなので、進路室にある先輩方の就職シートや、大学の就職セミナーから公務員試験の対策ややりたい仕事を見つけることをおすすめします。その後は勉強、面接練習あるのみです！応援しています。
3. 在学中に興味のあることはなんでも挑戦してみてください。就職すると、自分の思い通りに時間を使うことはなかなか難しいです。時間を気にせず過ごせるのは今だけです。豊かな経験は、就職活動や今後の人生にも役立ちます。勉強、アルバイト、遊びなど好きなことに全力で取り組んでみてください。
4. 保医大生でよかったことは、仲間とのつながりが深いことです。皆で課題や演習、実習に苦労しながら乗り越えた経験があるからこそ、卒業後、私も頑張ろうという支えになります。保医大で仲間と過ごす時間を大切に、楽しい大学生活を送ってください。

保健師として就職

1. 官公庁（県内）
2. 就職活動、実習、卒業研究を同時並行でこなしていかななくてはならなかったことです。周りの友人がどんどん内定を貰っていく焦りや、公務員試験の競争率の高さに心が折れそうになることが多々ありました。同じ目標を持った友人と励まし合い、また自分を信じて頑張ることで乗り越えられたと思います。
3. 卒業してから感じるのは、就職先や働き方は想像していた以上に沢山あるということです。私自身、ただ漠然と病院就職を考えていた時期もありました。自分の長所、短所をよく知ること、ライフワークバランスを大切にしたい働き方や自分の強みを活かせる場所を実習やインターンシップ等を通して考えることが大切だと思います。
4. 県内の様々な実習先に行かせていただけることです。実際に、働いている方の仕事の様子を目でみて、雰囲気を知れるため、就職先を考える上でも貴重な機会になるかと思っています。

管理栄養士として就職

1. 病院等（県内）
2. 就職活動で一番苦労したことは、自己分析です。就職先を探す際、そして面接対策等を進めていくにあたって、自分は管理栄養士として何をしたいのかを明確にしておくことがとても大切です。自分の中で一つ譲れないものを見つけておくと、面接の際も自信を持って受け答えができると思います。自分一人では答えが出ないときは先生や友達に相談してみると考えがまとまったりするので、一人で抱え込み過ぎないようにしてください！
3. 在学中にやっておくべき事は、何事にも積極的にチャレンジすることです。大学4年間はあっという間ですが、その中で挑戦して得た経験、そして出会いは必ず就職してからも役に立ちます。今しか無い大学生活、思う存分充実させてください！
4. 保医大生で良かったと思うことは、学年学科問わず多くの仲間ができたこと、そしてその繋がりが卒業後も続いているということです。同じ専門職であるためわかりあえる部分も多く、就職後もお互いに支え合いながら頑張っています。大学で出会えた仲間はこれからも大切にしてください！

助産師として就職

1. 病院等（県内）
2. 3年生の2月から助産課程が始まり、インターンや病院説明会に参加できず、病院選びが大変でした。就職試験が実習中にあり、就職試験と実習の両立が難しかったです。
3. 助産課程は時間がないので2年生から就職活動を始めるかと焦らないと思います。困った時は、1人で抱え込まずにゼミの先生に相談するとの確かなアドバイスをもらえるので、どんどん頼っていいと思います。
4. 卒業後も連絡を取り合う友達ができたこと、相談できる先生方に出会えたことは私にとって宝物です。卒業後に相談できる先生や友人がいることはとても心強いです。友人とはお互いに励まし合い、日々頑張れているので精神的にも支えになっています。友人や先生との繋がりは、卒業後も大切にしてください。

看護師として就職

1. 病院等（県内）
2. 就職活動と実習が重なっていたことです。履歴書や面接カードの書き方など知らないことが沢山ある中で、実習の記録や勉強と同時に履歴書や面接の準備を進めていくというスケジュールの管理が大変でした。
3. 初めての就職活動では知らないことや分からないことがたくさんあると思います。そんな時は、学校の先生方やハローワークを利用するなど、積極的に資源を活用してみてください。就職活動がぐっとやりやすくなると思います。そして、実習や勉強も大切ですが、趣味やアルバイトの時間もたくさん作ってください。ONとOFFの切り替えができるのは、就職してからも大いに役立つ力だと思います。
4. 演習や実習、講義が充実していたなと感じます。実際に就職してからも役に立つ知識や講義の内容が多く、やっておいてよかったと思える技術がたくさんありました。また、先生方や友人との繋がりが深く、相談できたり色々な情報を貰えたりと、在学中はもちろん卒業してから交流が続くことは、なかなか貴重な財産だなと思います。



1. 就職または進学先 2. 就職または進学で苦労したこと 3. 在校生へアドバイス 4. 保医大でよかったこと

「卒業生から

歯科衛生士として就職

1. 病院等（県内）
2. 4年生になると周囲の友人が就職先を決め始めていることに対する焦りを感じながら学外実習や国家試験の勉強を行ったこと、時間を工夫し歯科医院への見学を行ったこと、学びと就職活動の両立に苦労しました。
3. 実際に臨床の場に出てみると、大学で行った実習や許可を得て行った自主練習では技術の不足を感じました。是非、空いた時間を利用して学んだ技術を確実なものにする練習をしたほうがよいと思います。“できる”と感じられることが自分の自信に繋がると思います。また、就職活動に関しては焦ったり、安易に考えたりせず可能なかぎりしっかり見学に行った方がいいと思います。
4. 学内に歯科診療室があることにより、学内実習時に地域の方々との交流を経験でき、患者さんとの接し方を学べた事が良かったことです。また、学内や個人歯科医院での実習のみならず、歯科衛生士が関わっている病院など様々な現場での実習があるため、様々な環境における歯科衛生士の業務やあり方を学ぶことができ、その上で自分はどのような環境で働きたいのか、向いているのかという事を考える良い経験をさせてもらえたことです。

作業療法士として就職

1. 病院等（県外）
2. 卒業研究と並行して就職先の情報集めや就職試験の準備を行うことが大変でした。就職試験に向けては、特に面接に苦手意識が強かったため、ハローワークで模擬面接を行ってから臨みました。
3. 勉強を進め知識を増やしつつ、遊びやアルバイト等、学生時代にしかできない経験をする事だと思えます。自分の興味や関心の幅を広げることも大切だと思うので、感染症にも気をつけながら、メリハリをつけて勉強と私生活を両立していけたらいいと思います。
4. 少人数で、縦にも横にもつながりが深いことだと思えます。楽しいことはもちろん、試験・実習などは、同級生と助け合えたからこそ乗り越えられたと感じます。また、先輩方や先生方との距離も近いので、疑問や不安などがあった際に相談しやすかったです。

作業療法士として就職

2. 病院等（県外）
3. 総合実習後に卒研と国試勉強を進めつつ就職活動を並行して行ったことです。外部の方が大学に来てくれることもありましたが、自分でハローワークに出向き履歴書添削や面接指導を依頼していたので、限られた日数の中で様々なことを同時進行することに苦労しました。
4. 進路に迷ったり何か行き詰まったりしたら、1人で抱え込まず、先生・友人・先輩等誰でも良いので相談してみてください。学年が上がるごとに忙しくなっていきますが、何事も後回しにせず、計画を立てて早めに行動することが大切だと思います。
5. 他の大学に比べると1学年が少人数なことに加え、先輩や後輩との交流の場も多くあるので、横と縦の繋がりは非常に深いです。卒業した今でも先輩や後輩と連絡を取ることもありますし、保医大での繋がりを大切にしていこうと思います。

歯科衛生士として就職

1. 病院等（県内）
2. 歯科衛生士の求人数は大変多く選択肢が多いと言えますが、そのほとんどが個人歯科医院でした。私が希望していた県内の総合病院の求人は少なく、まず希望の就職先を探すことに苦労しました。また、病院への就職希望者は多く、倍率も高くなるので採用試験の準備にも苦労しました。
3. オンとオフの切り替えはすごく大事だと思います。社会人になってから感じたのは、学生という時間は有限で貴重だったということです。授業や実習の時は、しっかり頑張って試験やレポートなど課題に集中して取り組むことが大切ですが、それ以外の時間は短期留学や旅行などで視野を広げたり、趣味や遊びなどで気分の切り替えをしたり、時間に余裕がある学生時代にしかできないことを是非してほしいと思います。
4. 歯科衛生学科は、学生数が少ないのでアットホームなこと、また友人だけでなく先生方とも距離が近く、相談などしやすい環境でした。卒業した今でも、先生方に話を聞いていただけることはとても心強いです。また、同じ専門職として働く仲間として、相談や共感、情報交換ができる大切な存在である友人ができたことが良かったと思っています。

理学療法士として就職

1. 病院等（県内）
2. 希望していた病院の就職試験で、筆記試験と小論文、面接があったことです。当時は対策する事柄の多さに圧倒されていましたが、先生やジョブサポーターの方に相談しながら、一つひとつどんな対策ができるか情報収集することを意識しました。
3. 私はクラスメイトよりも遅く国試の勉強を始めました。卒論が終わってぼんやりしているとすぐに年明けになってしまいます。国試までの時間が単純に足りず、すごく焦るし、ストレスもたまるので、できるだけ早めに勉強を始めた方が良いです。臨床に出る前に、友人同士で評価や検査方法の練習ができるくらいの余裕があればなと思いました。
4. 少人数だけど、いろいろな個性の人がいて、刺激を直にもらえて、自分ももっと頑張らないと、と力をもらえる場所でした。勉強などで辛くても、楽しい学生生活を過ごすことができました。

理学療法士として就職

1. 病院等（県内）
2. 自身の目指している理学療法士になるためには、どの病院に就職することが適しているのか判断するところに苦労しました。複数の病院を見学し、気になった点をその都度質問することで自身に合った就職先を見つけることが出来たと思います。
3. 実習中に指導者の先生に教えて頂いた知識や技術が現在現場でも活用出来ています。大学生活の中で患者様と接する機会は実習以外ではほぼないと思うので、実習先で患者様との接し方を聞いてみるのも良いと思います。
4. 少人数制で縦横の繋がりがあがることで情報収集がしやすい環境であったと思います。また先生方のサポートも手厚いため、何か不安な事や疑問があれば積極的に相談した方がよいと思います。県立大学のため、期待を寄せられることも多くあると思いますが、自分らしさは忘れず、自信を持って頑張ってください。

令和元年度に卒業された、看護学科、栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）の方々から在校生の皆さんに向けて、就職や進学、大学の事などについて、アドバイスやメッセージを頂きました。

保護者に聞きました！ Vol.1

コロナ禍で学生の方々を見守る保護者にアンケートを行いました。

今回は後援会理事の皆様にご協力いただき、13名の方から回答をいただきました。

(内訳：全学科から回答、4年生4名、3年生2名、2年生1名、1年生6名、*実家暮らし8名、一人暮らし5名)

<学校関係について>

- ① オンライン授業を受ける環境は整っていましたか。
はい 13名 いいえ 0名
- ② 学校の情報など情報収集はできましたか。
はい 3名 いいえ 10名
- ③ 学校に行けなくて苦労したこと、気が付いたこと
 - ・友達ができるのか、新しい人間関係が築けるか心配。
 - ・図書館などが使用できず、学習環境が整わないようだった。
 - ・学校に行けない分、レポート提出に追われていた。
 - ・学校に通学しなかったため、親子とも入学した実感がなかなかわかなかった。
 - ・ネットのトラブルがあり困った。
 - ・家族みんなのオンラインでの仕事や授業の時間が重なった時、それぞれの部屋の確保が大変だった。
 - ・教科書販売が複数回になり、振込回数が増えて困った。
 - ・学習などの進み具合を友達と相談する機会が減って、モチベーションの維持に苦労していた。

<現在の不安、悩み、今後の要望(希望)について>

- ・先が見えない不安、コロナウイルスが怖い。
- ・子どもがコロナに感染したときの対応が心配。
- ・臨床実習や実技練習の不足のため、就職するにあたり経験不足にならないか心配。
- ・パソコン、携帯電話の酷使で眼の負担が大きいのではと心配。
- ・通学できる喜びの反面、感染への不安もあり複雑な気持ちがある。
- ・来年度の大学の授業、イベント開催などどのようになるのか。
- ・学生たちと先生方が交流できるツールがあるといいのでは。
- ・就職活動での見学に際して、先方からの見合わせの連絡があるなど、親子とも焦り、不安感が大きい。

<親としての関わりについて>

- ・家族での会話が増えた、家事を手伝ってくれるようになった。
- ・なるべく外に出るように声掛けした、親子で夕方にウォーキングをした。
- ・学校に行けない時の無気力が心配だったが、人との繋がりが増えて少しづつ前向きになり、本人のやりたいことを応援している。
- ・姉妹で住んでいるので、メンタル面は安心できた。
- ・制限時期は7か月ほど会うことができなかった、連絡を密にできなかった。
- ・毎日連絡を取っていたが、本人にかなりの心の負担があったようで、親として見落としていた部分が多くあったと気が付いた。

<生活面について>

- ・早起きを促すため、朝食作りを当番制にした。
- ・生活のリズムが乱れて、食事の時間も不規則になりがちになった。
- ・バイトに行く日が減ったり、バイトができなくなり、収入が減った。
- ・自宅にいたので、家事ができるようになった。
- ・一人暮らしのため、学校に行かないと家から出ず、食事もとらないことがある。
- ・インスタント食品を摂ることも多くなり、そのため家から料理を送ったりした。
- ・融通の利く時間が増えたので、バイトに行っている。

今回初めて保護者の方の声をお聞きしました。このような時期ですので、集まっている情報交換する機会も少ない中、コロナ禍の保護者の方の思いを知ることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

(理事 鈴木 都)



進路一覽

令和元年度

看護学科 (県内)

市川市役所、市原市役所、医療法人社団保健会、鎌ヶ谷総合病院、国際医療福祉大学市川病院、国保旭中央病院、佐倉市役所、山武市、新松戸中央総合病院、聖隷佐倉市民病院、セコマディック病院、千葉県、千葉県病院局救急医療センター、千葉県病院局千葉県がんセンター、千葉県病院局千葉県市海浜病院、千葉市役所、千葉大学医学部附属病院、千葉中央メディカルセンター、千葉徳洲会病院、東金市役所、東京歯科大学市川総合病院、成田赤十字病院、東千葉メディカルセンター、船橋市、船橋市立医療センター、船橋総合病院、船橋中央病院、船橋二和病院、谷津保健病院、四街道市役所、四街道徳洲会病院

看護学科 (県外)

板橋中央総合病院、一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院、青梅市、株式会社アーバンシステム、河北総合病院、関西医科大学総合医療センター、吉祥寺病院、慶應義塾大学病院、三楽病院、湘南鎌倉総合病院、聖路加国際病院、筑波大学附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、東京北医療センター、東京慈恵会医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東京都荒川区、東京都杉並区、東京都墨田区、東京都千代田区、東京都港区、東京都立墨東病院、名古屋第一赤十字病院、三井記念病院

栄養学科 (県内)

印西総合病院、株式会社京葉銀行、株式会社くすりの福太郎、亀田総合病院、千葉県、東葛クリニック病院

栄養学科 (県外)

魚沼醸造株式会社、金沢医療センター、株式会社ココカラファイン、株式会社トモズ、株式会社フジマック、株式会社富士薬品、株式会社リビングライフ、済生会横浜市東部病院、高島平中央総合病院、東京都、東京都千葉福祉園、日本調剤株式会社、やまと診療所

歯科衛生学科 (県内)

アイボリー歯科医院、あおぞら歯科クリニック新館、一般社団法人千葉県歯科医師会、クリスタルミツル病院、斉藤歯科医院、千葉県済生会習志野病院、千葉メディカルセンター、ナンバデンタルオフィス、松戸市立総合医療センター

歯科衛生学科 (県外)

あべ歯科医院、一美歯科、医療法人社団相生会、ササキ株式会社、昭和大学歯科病院、菅原歯科、鈴木歯科医院、医療法人中央歯科病院、東海大学医学部附属八王子病院、西葛西杉井歯科クリニックキッズプラス

リハビリテーション学科理学療法学専攻 (県内)

旭神経内科リハビリテーション病院、医療法人社団淳英会、奏の杜整形外科、株式会社スプリックス、鎌ヶ谷総合病院、五香病院、山王病院、新東京病院、袖ヶ浦さつき台病院、タムス浦安病院、千葉県済生会習志野病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター、千葉中央メディカルセンター、千葉みなとりリハビリテーション病院、津田沼中央総合病院、東葛病院、東京湾岸リハビリテーション病院、成田病院、船橋整形外科病院、北総白井病院、松戸市病院事業

リハビリテーション学科理学療法学専攻 (県外)

江東病院、博多メディカルクリニック

リハビリテーション学科作業療法学専攻 (県内)

市原鶴岡病院、株式会社アクト・デザインこども発達支援ルームまあち、木更津病院、五香病院、総武病院、袖ヶ浦さつき台病院、千葉健生病院、千葉徳洲会病院、千葉労災病院、東京湾岸リハビリテーション病院、船橋北病院、船橋市立医療センター

リハビリテーション学科作業療法学専攻 (県外)

愛正会記念茨城福祉医療センター、あそか病院、一般社団法人葵の空在宅看護センター、苑田会リハビリテーション病院、埼玉みさと総合リハビリテーション病院、横浜旭中央病院、リハビリテーション天草病院

国家試験合格率

令和元年度

学科	職種	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	
				本学	全国
看護学科	保健師	80	74	92.5%	96.3%
看護学科	助産師	10	10	100%	99.5%
看護学科	看護師	80	80	100%	94.7%
栄養学科	管理栄養士	26	26	100%	92.4%
歯科衛生学科	歯科衛生士	21	21	100%	94.3%※
リハビリテーション学科	理学療法士	27	26	96.3%	93.2%
リハビリテーション学科	作業療法士	20	19	95.0%	94.2%

※歯科衛生士の全国合格率は既卒者を含む。

就職進学状況

令和元年度

区分	卒業者	就職希望者	就職者			就職率	進学・その他			就職活動中
	(a+c)	(a)	(県内)	(県外)	合計 (b)	(b/a)	進学	その他	その他の合計 (c)	
看護学科	82	81	53	28	81	100%	1	0	1	0
栄養学科	26	25	7	14	21	84%	1	0	1	4
歯科衛生学科	21	20	9	10	19	95%	1	0	1	1
理学療法学専攻	27	27	25	2	27	100%	0	0	0	0
作業療法学専攻	21	20	13	7	20	100%	1	0	1	0
合計	177	173	107	61	168	97.1%	4	0	4	5

分野別就職状況

令和元年度

学科・専攻	病院等	官公庁	施設等 (保育所・学校・特養等)	一般企業	その他 (ライセンスを 使用しない)	合計
看護学科	63	17	0	1	0	81
(県内)	(42)	(11)	(0)	(0)	(0)	(53)
(県外)	(21)	(6)	(0)	(1)	(0)	(28)
栄養学科	7	3	1	10	0	21
(県内)	(3)	(2)	(0)	(2)	(0)	(7)
(県外)	(4)	(1)	(1)	(8)	(0)	(14)
歯科衛生学科	17	0	0	1	1	19
(県内)	(8)	(0)	(0)	(0)	(1)	(9)
(県外)	(9)	(0)	(0)	(1)	(0)	(10)
リハビリテーション学科理学療法学専攻	26	0	0	1	0	27
(県内)	(24)	(0)	(0)	(1)	(0)	(25)
(県外)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)
リハビリテーション学科作業療法学専攻	18	0	2	0	0	20
(県内)	(12)	(0)	(1)	(0)	(0)	(13)
(県外)	(6)	(0)	(1)	(0)	(0)	(7)
合計	131	20	3	13	1	168

令和2年度事業報告

会員の皆様には、日頃より後援会活動にご協力いただき、ありがとうございます。

今年度も学生の皆さんが充実した大学生活を送るため、多岐にわたる事業の取組を計画しておりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小や中止が余儀なくされました。

教育支援としては、TOEIC・TOEFL受験料や国家試験模試の一部補助、就職対策講座等の補助を行いました。

施設事業については防災備蓄品に感染症対策として、アルコール消毒液、ビニール手袋の購入を追加しました。

保管場所

- 幕張キャンパス — 事務棟2階教養室(和室)
- 仁戸名キャンパス — 学生ホール

防災備蓄品

除菌できるアルコールタオル、5年保存水、防災食(アルファ米)災害用トイレセット、レスキュー防寒シート、生理用ナプキン、アルコール消毒液、ビニール手袋

学生会活動支援として、学生会主催行事やサークル活動費の費用の助成をしました。

いずみ祭(大学祭)では 例年後援会ブースを設け、チー

ぱくんをお迎えする等して参加してきましたが、昨年は台風の為、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。来年、情勢に合わせた安全な開催ができることを願っています。

千葉県庁生協売店支援を行いました。平成29年度から行っている学生に好評な「学生応援フェア」(商品を半額にし割引分を後援会で負担する 幕張、仁戸名、両キャンパスにて実施)は残念ですが、密を防ぐために、開催を見送りました。

卒業生には、卒業証書ファイルと卒業記念品(3機能浸透印)の贈呈を卒業生全員に予定しています。

今年度は異例の形でスタートし、状況を鑑みて変更続きとなりました。今後も先生方から大学の現状を伺い、意見交換をしながら、感染予防や安全を考慮した上で、学生達がより良いキャンパスライフを送れるよう、会員の皆様からお預かりした後援会費で、様々なサポート事業を実施していきたいと考えております。また、皆様のご意見も賜りながら、より一層充実した支援を検討してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(理事 大島 綾子)

《新入学生の保護者の方へ～後援会入会のお願い》

保医大後援会は、会員の皆様から後援会費をお預かりし、学生のキャンパスライフをサポートするために活動しています。その内容は、サークルやいずみ祭、新入生歓迎会等の学生会活動、就職に係わる講習会や国家試験模擬試験、TOEIC や TOEFL 受験の補助、学生生活が円滑に進むような設備補助等、多岐にわたっています。

何卒ご理解の上、後援会に入会の程よろしくごお願いいたします。なお、後援会費は、4年間分(編入生は2年間分)1回だけの納入となります。詳しくは、同封しました案内をご覧ください。また、後援会広報誌「いずみ」は、今後入会された方へのみ年2回(夏号7月頃、冬号2月頃)お送りいたします。

卒業記念品

平成25年3月の保医大第1期生から卒業記念品として後援会よりスクールカラーの水色の学位記・卒業証書入れと昨年度より「訂正印付き3機能ネーム印」を贈呈しております。ネーム印面は、卒業生の皆さんが後から注文して頂き、はめ込むタイプのものです。同梱されている申し込みはがきに、必要事項を記入して投函して頂くと、後日、印面が郵送されます。なお、申し込みには締め切り期日が有りますので、卒業生の皆さんは忘れずに注文の上、活用して頂ければと思います。



国家試験実施日及び合格発表日

試験名	試験日	合格発表日
第107回 保健師国家試験	令和3年2月12日(金)	令和3年3月26日(金)
第104回 助産師国家試験	令和3年2月11日(木)	令和3年3月26日(金)
第110回 看護師国家試験	令和3年2月14日(日)	令和3年3月26日(金)
第35回 管理栄養士国家試験	令和3年2月28日(日)	令和3年3月26日(金)
第30回 歯科衛生士国家試験	令和3年3月7日(日)	令和3年3月26日(金)
第56回 理学療法士国家試験	筆記試験 令和3年2月21日(日)	令和3年3月23日(火)
	*口述試験及び実技試験 令和3年2月22日(月)	
第56回 作業療法士国家試験	筆記試験 令和3年2月21日(日)	令和3年3月23日(火)
	*口述試験及び実技試験 令和3年2月22日(月)	

*重度視覚障害者

後援会活動へのご意見・ご感想はこちらまで kouenkai2010@hotmail.co.jp